

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

高知県国際観光推進事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県

3 地域再生計画の区域

高知県の全域

4 地域再生計画の目標

人口減少や高齢化が進み、県内市場が縮小し続けている高知県では、「高知県産業振興計画」の実践を通じて、活力ある県外・海外にモノを売って外貨を稼ぐ「地産外商」と、その流れをより力強い「拡大再生産」の好循環へとつなげていく取り組みを推進することで、目指す将来像として掲げている「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」の実現を目指している。

中でも、観光分野については、本県の自然や歴史、食などを活用し「世界に通用する本物と出会える高知観光」をスローガンに、さらなる飛躍を図るため、誘客の目玉となる観光拠点の磨き上げやアウトドア拠点の整備等による「戦略的な観光地づくり」、国内外のマスメディアを活用したプロモーションや、観光サポートアプリを活用した地域の観光情報の提供などによる「効果的なセールス&プロモーション」を柱として取り組んでいる。

特に、訪日外国人観光客が過去最高を記録する中で、全国的に見れば本県はまだまだ外国人観光客からの知名度が低い状況にあること（※）から、「国際観光の推進」を戦略の柱の一つとして、増加するクルーズ船の受入環境やW i - F i 環境の整備、多言語化の推進など、外国人観光客の受入環境を整備するとともに、重点市場におけるセールス・プロモーションの展開や「よさこい」発祥の地・高知の認知度向上を通じ、外国人観光客のさらなる誘客に取り組んでいる。

今後は、外国人観光案内所の設置支援や海外における本県の認知度向上のための「よさこいアンバサダー」の認定等によりよさこいの海外ネットワークを構築し、国際観光のさらなる振興を図っていく。

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者数 H27年 全国42位

【数値目標】

事業	高知県国際観光推進事業	
K P I	観光庁「宿泊旅行統計調査」 外国人延べ宿泊者数（人泊）	年 月
申請時	76,000 人泊	H28. 12
初年度	95,000 人泊	H29. 12
2年目	118,000 人泊	H30. 12
3年目	148,000 人泊	R元. 12

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

外国人観光客の飛躍的な増加を実現させるにあたり、外国人観光客の受入環境を整備するため、外国人観光案内所設置支援事業や外国クルーズ客船の乗客等の受入体制を充実するとともに、本県の「よさこい」の認知度を向上させるため、よさこい海外認知度向上事業や県内よさこいチームの海外派遣を行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：
【A2007】

(1) 事業名：高知県国際観光推進事業

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

人口減少や高齢化が進み、県内市場が縮小し続けている高知県では、「高知県産業振興計画」の実践を通じて、活力ある県外・海外にモノを売って外貨を稼ぐ「地産外商」と、その流れをより力強い「拡大再生産」の好循環へとつなげていく取り組みを推進することで、目指す将来像として掲げている「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」の実現を目指している。

中でも、観光分野については、本県の自然や歴史、食などを活用し「世界に通用する本物と出会える高知観光」をスローガンに、さらなる飛躍を図るため、誘客の目玉となる観光拠点の磨き上げやアウトドア拠点の整備等による「戦略的な観光地づくり」、国内外のマスメディアを活用したプロモーションや、観光サポートアプリを活用した地域の観光情報の提供などによる「効果的なセールス&プロモーション」を柱として取り組んでいる。

特に、訪日外国人観光客が過去最高を記録する中で、全国的に見れば本県はまだ外国人観光客からの知名度が低い状況にあること(※)から、「国際観光の推進」を戦略の柱の一つとして、増加するクルーズ船の受入環境やWi-Fi環境の整備、多言語化の推進など、外国人観光客の受入環境を整備するとともに、重点市場におけるセールス・プロモーションの展開や「よさこい」発祥の地・高知の認知度向上を通じ、外国人観光客のさらなる誘客に取り組んでいる。

今後は、外国人観光案内所の設置支援や海外における本県の認知度向上のための「よさこいアンバサダー」の認定等によりよさこいの海外ネットワークを構築し、国際観光のさらなる振興を図っていく。

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者数 H27年 全国42位

(事業の内容)

①外国人観光案内所設置支援事業費補助金

本県を訪れる外国人観光客の受入環境整備の一環として、県内の観光拠点等が、日本政府観光局（JNTO）が運用する外国人観光客案内所認定制度の認定を受けられるよう、必要な設備等の整備に助成することにより、外国人観光案内所の新規開設の促進を図り、外国人観光客が安心・快適に周遊観光できる環境を整える。

具体的には、看板の設置、スタッフや利用者用のパソコン、対面式のカウンター、

W i - F i 環境整備、多言語パンフレット等の作成に要する経費に対し補助する。

実施主体：市町村等

補助率：1 / 2 以内

[各年度の事業の内容]

初年度) 外国人観光案内所を新規開設する市町村への補助、次年度へ向け市町村への制度のPR

2年目) 外国人観光案内所を新規開設する市町村へ補助

②よさこい海外認知度向上事業

現在、世界の多くの国において高知発祥の「よさこい」に関連する祭りやイベントが開催されるとともに、現地チームが立ちあがるなど、世界的な広がりをみせている。

この世界的な広がりを活用し、世界各国において「よさこい」を普及・発信しているよさこいチームの代表（各2～3名）を「よさこいアンバサダー」として、県が認定し、その所属チームの活動について様々なサポートを行うことにより、「よさこい」の世界への展開、交流の促進等を通じ、世界各国における高知県の認知度の向上を図り、外国人観光客の増加に繋げていく。

具体的には、アンバサダーになっていただく海外のよさこいチームの代表を高知県へ招へいし、アンバサダー認定式典に出席いただくとともに、よさこい祭りへの参加、交流会の開催等を行う。

また、アンバサダー等が海外で演舞を行う場合に活用できる曲及び振付を制作し、これらを使用した演舞を披露していただくこと等により、海外におけるよさこいの認知度向上につなげる。

実施主体：高知県（委託事業）

[各年度の事業の内容]

初年度) アンバサダーの招へい、アンバサダー認定式典の開催、アンバサダーのよさこい祭りへの参加、交流会の開催

2年目) アンバサダーの招へい、アンバサダー認定式典の開催、アンバサダーのよさこい祭りへの参加、交流会の開催

3年目) アンバサダーの招へい、アンバサダー認定式典の開催、アンバサダーのよさこい祭りへの参加、交流会の開催、海外等で使用できる演舞曲及び振付の制作

(4) 地方版総合戦略における位置付け

高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略において、基本目標1「地産外商により安定した雇用を創出する」ため、重要業績評価指標（KPI）として「県外観光客入込数：平成31年に435万人以上」を掲げている。

本事業は、県外観光客のうち、特に外国人観光客の誘致、満足度向上を図るもので、総合戦略の基本目標として掲げている、「平成31年に県外観光客入込数435万人以上」の達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	高知県国際観光推進事業	
K P I	観光庁「宿泊旅行統計調査」 外国人延べ宿泊者数（人泊）	年 月
申請時	76,000 人泊	H28. 12
初年度	95,000 人泊	H29. 12
2 年目	118,000 人泊	H30. 12
3 年目	148,000 人泊	R 元. 12

(6) 事業費

(単位：千円)

外国人観光案内 所設置支援事業	年度	H29	H30	計
	事業費計	2,375	2,375	4,750
区分	負担金、 補助及び 補助金	2,375	2,375	4,750

(単位：千円)

よさこい海外認 知度向上事業	年度	H29	H30	R 元	計
	事業費計	11,084	10,322	11,495	33,663
区分	委託料	11,084	10,322	11,495	33,663

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29		計
法人名	(株)DDホールデ ィングス	(株)ケンツー	
寄附額（千円）	500	100	600

年度	H30		計
法人名	(株)DDホールディングス		
寄附額（千円）	500		500

(8) 事業の評価の方法（PDCA サイクル）

(評価の手法)

外部の委員で構成する「高知県産業振興計画フォローアップ委員会」において、PDCA サイクルに基づき取り組みの進捗状況や成果を検証し、その結果を踏まえて、適宜次年度の事業手法を改善する。

※構成委員：各種関係団体（農業協同組合、森林組合連合会、漁業協同組合、商工会議所連合会、工業会等）代表者、地方金融機関頭取、大学教授等有識者、市町村長の代表者

(評価の時期・内容)

毎年9月、1月、3月に開催するフォローアップ委員会における効果検証結果等を踏まえて、翌年度以降の取組方針を決定する。

(公表の方法)

検証結果については、速やかに県のホームページ上で公表する。

(9) 事業期間：

- ① 外国人観光案内所設置支援事業
平成 29 年 5 月～平成 31 年 3 月
- ② よさこい海外認知度向上事業
平成 29 年 5 月～平成 31 年 3 月
平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 客船受入等業務委託事業

事業概要：高知県へ寄港した外国クルーズ客船の乗客の満足度を高めるとともに、外国クルーズ客船の更なる誘致と寄港の定着化を図るために、外国クルーズ客船寄港時に高知市中心部における乗客等の受入体制を充実することとし、臨時観光案内所の設置や市街地における通訳スタッフの配置、ツアーバスによる市街地渋滞対策等について委託し実施する。

実施主体：高知県

事業期間：平成 28 年度～令和元年度

(2) よさこいチーム海外派遣委託事業

事業概要：よさこいを通じた海外での PR 活動のため、海外で開催されるよさこい関係の祭り等へ、県内のよさこいチームを派遣する。

実施主体：高知県

実施期間：平成 28 年度～令和元年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から令和 2 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

外部の委員で構成する「高知県産業振興計画フォローアップ委員会」において、PDCA サイクルに基づき取り組みの進捗状況や成果を検証し、その結果を踏まえて、適宜次年度の事業手法を改善する。

※構成委員：各種関係団体（農業協同組合、森林組合連合会、漁業協同組合、商工会議所連合会、工業会等）代表者、地方金融機関頭取、大学教授等有識者、市町村長の代表者

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年 9 月、1 月、3 月に開催するフォローアップ委員会における効果検証結果等を踏まえて、翌年度以降の取組方針を決定する。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

検証結果については、速やかに県のホームページ上で公表する。

